

アルドラ・ドルファンの初恋

妖艶で残酷な妖精女王、N◎VAのアヤカシ
たちを統べるサロンの主にして、フェスラー
公国の元首。そんな謎多きキャラ、アルドラ・
ドルファンを取り扱ったファンシナリオだ。
(掲載日：2016.1.31)

プレアクト情報

PRE-ACT INFO

■シナリオ基本情報

▼作者

あるばがんど (twitter : @Alba_gard)

▼プレイヤー人数

3～4人

▼想定プレイ時間

5～6時間

▼シナリオタグ

アストラル、アルドラ・ドルファン、ダブルハンドアウト

●このシナリオについて

本シナリオは、“女大公”アルドラ・ドルファンを
取り扱ったファンシナリオであると同時に、ダブル・
ハンドアウトを使用したシナリオだ。

濃密な愛憎劇を是非とも楽しんでほしい。

●シナリオレギュレーション

本シナリオは使用経験点に応じて、2種類のゲスト
データを用意している。

▼使用経験点

低経験点用データは0～60点程度、

高経験点用データは61～200点程度

▼達成値制限

制限なし。

低経験点用データの敵の最大達成値は22、

高経験点用データの敵の最大達成値は25だ。

▼RLの使用するサブリメント

「TNX」「TOS」「CTL」「BTD」

■アクトトレーラー

キャスト作成の前に、以下のアクトトレーラーを読
み上げること。これはアクトのイメージを膨らませる
のに役立つ。

改定情報

16.2.8 第1改訂

(誤植、データ不具合修正)

永世者の血を蝕む、永遠という名の倦怠。
その膨大な時間の中では、あらゆる出来事は輝き
を失い、色褪せていく。
けれど、たったひとつだけ、忘れることのできな
い鮮烈な出会いがあった。
初恋の血の味は甘美で、今でもこの胸を焦がしつ
づける。

美しく残酷な妖精女王、アルドラ・ドルファン。
彼女の接吻によってアヤカシとなり、復讐を誓っ
た『①アヤカシ』。
かつての恋人達は、災厄の都で再会する。

トーキョー-N◎VA THE AXLERATION
『アルドラ・ドルファンの初恋』

今宵、運命の恋が終わる。

■キャスト作成

プレアクトシート（アクトトレーラー、ハンドアウトなど）を参考にキャストを作成すること。

●クイックスタート

本シナリオでは、以下のサンプルキャストを使用することを推奨する。

『①アヤカシ』：闇の交渉人（『BTD』p62）

『②アヤカシ』：鋼の人狼（『TOS』p50）

『③バサラ』：炎の退魔師（『TOS』p48）

『④イヌ』：夜の猟犬（N／Cオリジナル）

●必要な神業

ゲストが使用する即死系神業だけでキャストが死亡することを防ぐため、キャスト全員で2個以上の防御系神業が必要だ。

また、《天変地異》に使用方法が想定されている。

●主に使用する技能

本シナリオの情報収集で主に使用する技能は、〈社会：アストラル〉などである。

●ダブルハンドアウトについて

本シナリオはダブルハンドアウトを使用している。プレイヤーには、ペルソナ・ハンドアウトを提示してキャストの枠を選んでもらい、その後キー・ハンドアウトを伏せて配る。

なおシナリオのタイプは、すべてのキー・ハンドアウトを開くことを前提としたオープンタイプである。

■キャスト間コネクション

以下の順番で取得すること。

『①アヤカシ』→『②アヤカシ』→『③バサラ』→『④イヌ』→『①アヤカシ』

ペルソナ・ハンドアウト

本シナリオは「ダブルハンドアウト・ルール（『BTD』p36）」を採用している。ペルソナ・ハンドアウト選択後に配布されるキー・ハンドアウトを参照してからキャストを作成すること。

各キャストには、追加で以下の設定が推奨される。

- 『①アヤカシ』：はぐれ者のアヤカシ、アルドラの初恋の人
- 『②アヤカシ』：サロン・ドルファンの執行人
- 『③バサラ』：フリーランスの退魔師
- 『④イヌ』：ナイトハウンドの捜査官

ペルソナ・ハンドアウト

①推奨スタイル：アヤカシ

PERSONA HANDOUT

コネ：“女大公”アルドラ・ドルファン

推奨スート：生命

遥か昔の話。キミはアルドラの接物によって、己の意志に反して、アヤカシとなった。人としての平穏な生を奪った彼女を許すことはできなかった。以来、キミは彼女を滅ぼすことを誓い、永い夜を生きてきたのだ。そして今、時は満ちた。キミは彼女が住処に選んだ災厄の街へと向かう。復讐の刃を、人ならざる魂に隠して――。

【初期 PS：アルドラを討つ】

ペルソナ・ハンドアウト

②推奨スタイル：アヤカシ

PERSONA HANDOUT

コネ：“女大公”アルドラ・ドルファン

推奨スート：理性

近頃、“狩り場”で掟を無視した狩りが行われている。人間ばかりか、強大なアヤカシまでもがその犠牲となった。目撃者はなく、犯人は不明……しかし、キミは不穏な噂を耳にする。アルドラの寵愛を受けながら、彼女を滅ぼそうとする同族狩りが、NOVAにやってきたというのだ。執行人の誇りにかけ、やつを討伐せねばならない。

【初期 PS：同族狩りを討つ】

ペルソナ・ハンドアウト

③推奨スタイル：バサラ

PERSONA HANDOUT

コネ：キャロル・フェスラー

推奨スート：理性

キミは近頃、フェスラー家の御曹司、キャロル・フェスラーと懇意にしている。ある日、キミは彼から相談事を持ちかけられた。行方をくらませている「本物の」“女大公”アルドラを探してほしいというのだ。失踪前、彼女はキャロルに別れを告げにきたのだという。人探しは専門ではないが、アヤカシを探すなら話は別だ。

【初期 PS：アルドラを探す】

ペルソナ・ハンドアウト

④推奨スタイル：イヌ

PERSONA HANDOUT

コネ：“^{ハスター}槍”カイル

推奨スート：理性

キミはナイトハウンドの捜査官だ。近頃、ストリートで不可解な殺人事件が相次いでいる。おそらくアヤカシによる狩り……それもサロンの掟を無視したはぐれ者の仕業だ。そうして捜査を進めていたキミの前に、全身に傷を負った“槍”カイルが現れた。彼を倒すことができる化物とは、いったい何者ののだろうか。

【初期 PS：犯人を探す】

ダブルハンドアウト

本シナリオは「ダブルハンドアウト・ルール（『BTD』p36）」を採用している。RLはベルソナ・ハンドアウトの配布が完了した後、それぞれに対応したキー・ハンドアウトを配布すること。

各キャストには、追加で以下の設定が推奨される。

- ①「アヤカシ」：はぐれ者のアヤカシ、アルドラの初恋の人
- ②「アヤカシ」：サロン・ドルファンの執行人
- ③「バサラ」：フリーランスの退魔師
- ④「イヌ」：ナイトハウンドの捜査官

ベルソナ・ハンドアウト

①推奨スタイル：アヤカシ

PERSONA HANDOUT

コネ：「女大公」アルドラ・ドルファン

推奨スト：生命

遙か昔の話。キミはアルドラの接吻によって、己の意志に反して、アヤカシとなった。人としての平穏な生を奪った彼女を許すことはできなかった。以来、キミは彼女を滅ぼすことを誓い、永い夜を生きてきたのだ。そして今、時は満ちた。キミは彼女が住処に選んだ災厄の街へと向かう。復讐の刃を、人ならざる魂に隠して――。

【初期 PS：アルドラを討つ】

ベルソナ・ハンドアウト

②推奨スタイル：アヤカシ

PERSONA HANDOUT

コネ：「女大公」アルドラ・ドルファン

推奨スト：理性

近頃、「狩り場」で掟を無視した狩りが行われている。人間ばかりか、強大なアヤカシまでもがその犠牲となった。目撃者はなく、犯人は不明……しかし、キミは不穏な噂を耳にする。アルドラの寵愛を受けながら、彼女を滅ぼそうとする同族狩りが、N◎VAにやってきたというのだ。執行人の誇りにかけ、やつを討伐せねばならない。

【初期 PS：同族狩りを討つ】

ベルソナ・ハンドアウト

③推奨スタイル：バサラ

PERSONA HANDOUT

コネ：キャロル・フェスラー

推奨スト：理性

キミは近頃、フェスラー家の御曹司、キャロル・フェスラーと懇意にしている。ある日、キミは彼から相談事を持ちかけられた。行方をくらませている「本物の」“女大公”アルドラを探してほしいというのだ。失踪前、彼女はキャロルに別れを告げにきたのだという。人探しは専門ではないが、アヤカシを探すなら話は別だ。

【初期 PS：アルドラを探す】

ベルソナ・ハンドアウト

④推奨スタイル：イヌ

PERSONA HANDOUT

コネ：^{ハスラ}「槍」カイル

推奨スト：理性

キミはナイトハウンドの捜査官だ。近頃、ストリートで不可解な殺人事件が相次いでいる。おそらくアヤカシによる狩り……それもサロンの掟を無視したはぐれ者の仕業だ。そうして捜査を進めていたキミの前に、全身に傷を負った“槍”カイルが現れた。彼を倒すことができる化け物とは、いったい何者なのだろうか。

【初期 PS：犯人を探す】

キー・ハンドアウト

①推奨スタイル：アヤカシ

HEY HANDOUT

コネ：「女大公」アルドラ・ドルファン

推奨スト：感情

▼開示条件：隠れ家のアドレスに向かった
▼情報：【アルドラの隠れ家】（いつでも）

キミは一連の事件の犯人ではない。キミはアルドラから一通の手紙を受けとり、N◎VAにやってきたのだ。「永劫を生きた代償を支払う時がきた。私は滅びる。でも、最期はあなたに殺されたい。愛するあなたに彼女を許すことができるのか？わからない。しかし、キミが聞きたかったのはこんな言葉ではなかったはずだ。

【新規 PS：アルドラと決着をつける】

キー・ハンドアウト

②推奨スタイル：アヤカシ

HEY HANDOUT

コネ：「女大公」アルドラ・ドルファン

推奨スト：感情

▼開示条件：情報【千年の倦怠】を調べた
▼情報：【千年の倦怠】（いつでも）

サロンのアヤカシ達は知らない。アルドラは今、病に苦しんでいる。たとえ同族狩りを討伐したとしても、病魔を駆逐しないかぎり、アルドラを守ることではできないのだ。キミは執行人として務めるかわら、千年の倦怠という病の治療方法を探し求めている。手立ては必ずあるはずだ。

【新規 PS：アルドラに尽くす】

キー・ハンドアウト

③推奨スタイル：バサラ

HEY HANDOUT

コネ：モーゼ

推奨スト：外界

▼開示条件：情報【モーゼ】を調べた
▼情報：【モーゼ】（いつでも）

キミの本当の目的は宿敵、永世者モーゼを討つことだ。やつは角機電馬という名を得て、人間社会に潜伏している。だがモーゼはアルドラの古い友だという。“女大公”……そしてサロン・ドルファンがやつ一味となるなら厄介なことになる。キャロルの依頼を隠れみにアヤカシ達に近づき、その態度を見極めるのだ。

【新規 PS：モーゼを討伐する】

キー・ハンドアウト

④推奨スタイル：イヌ

HEY HANDOUT

コネ：「女大公」アルドラ・ドルファン

推奨スト：外界

▼開示条件：いつでも
▼情報：【アルドラの目撃情報】（いつでも）

気を失ったカイルの後から襲撃者の姿が現れた。キミはなんとかカイルを連れて、難を逃れたが、犯人の正体をはっきりと目撃した。街灯の下、浮かび上がった小さな少女の影。間違いない……あの少女はアルドラ・ドルファンだ。“女大公”はみずからが築上げた秩序を、その手で打ち壊そうとしている。

【新規 PS：アルドラの狩りを止める】

RL用テキスト

◎ ◎ ◎
TXT 4 RULER

■ストーリー

恋多き妖精女王、“女大公”アルドラ・ドルファン。定命の者達からは想像もつかないほど長い時を生きてきた彼女にも、幼くごちない初恋があった。遥か昔、『①アヤカシ』という人間と巡りあった彼女は、永遠を生きる伴侶とすべく、彼（彼女）をアヤカシへと変えたのだ。しかし、『①アヤカシ』は怪物に変えられたことを恨みに思い、アルドラと決別。以来、『①アヤカシ』は彼女への復讐を誓い、今日まで生きてきた。

そして、現代。モーゼという永世者が、千年の倦怠という呪いに罹患した。千年の倦怠にかかった永世者は、アヤカシとしての本能のまま振る舞うようになり、やがて死に至る。モーゼはかねてより恋慕を抱いていたアルドラと共に滅びたいという妄執に取りつかれるようになる。

モーゼはN◎V A軍と協力し、ベサハウイルスという対アストラル用呪術兵器を開発する。ベサハウイルスは永世者に感染することで、千年の倦怠に酷似した症状をもたらす。モーゼはこれをアルドラに感染させ、アルドラを真の死に追いやりようとする。

ベサハウイルスに感染したアルドラは、アヤカシとしての攻撃衝動をおさえられず、凶行を繰り返すようになる。もはや滅びの運命は免れえないと考えたアルドラは『①アヤカシ』を、N◎V Aへと呼び寄せる。愛する『①アヤカシ』の復讐の刃によって、その永遠の生に決着をつけるために――。

キャスト達はN◎V Aで起こる事件を追ううちに、アルドラに絡みつく陰謀を知る。キャスト達がアルドラをベサハウイルスから解き放ち、モーゼを倒す。その後、『①アヤカシ』がアルドラとなんらかの決着をつけたところで、シナリオは終了する。

■クライマックスの条件

「●イベント4：肉体の悪魔」の後、クライマックスになる。

■質疑応答

ダブルハンドアウトを配布したのち、RLはそれぞれのプレイヤーに個別に連絡し、質問に回答したり、RLの要望を伝えること。

●『①アヤカシ』

- ・『①アヤカシ』とアルドラの過去は、シナリオでは細かく設定されていない。
- ・アルドラとの思い出の品（*1）を決定する。これは具

体的にどのようなものでも構わないが、現在は『①アヤカシ』の手元からも、アルドラの手元からも失われている。キャストは知らないことだが、このアクト中ではこれが『TOS』P29に言及されている『記念品』だったことになる。

- ・アルドラは妖精の一族、夜の一族ではあるが、『①アヤカシ』が〈血脈③：妖精の一族〉〈血脈⑥：夜の一族〉を取得する必要はない。もちろん取得してもよい。
- ・『①アヤカシ』の復讐は、なぜ今まで果たされなかったのか（『①アヤカシ』は現代までなにをしていたのか）」という点については、シナリオ上で特に設定はない。プレイヤーは自由に考えること。
- ・【P S：アルドラと決着をつける】はそれがどういった形であっても構わない。

●『②アヤカシ』

- ・ペルソナハンドアウトに書かれている同族狩りとは『①アヤカシ』のことだ。しかし、シナリオ上、キャスト間で対決する展開にはならない。
- ・アルドラは病のことを周囲に隠している。そのため“侍従長”アルフレッドや“妖精の目を持つ乙女”リアーナなどの、アルドラに近いアヤカシもこのことを知らない。病気とはいえ、突発的な発作以外、目立った症状はない（ように見える）。『②アヤカシ』が病気を知ったのは、偶然発作を目撃したからだ。
- ・現在、アルドラは安全な場所に身を隠している。彼女の側にはカゲムシャであるリアーナが護衛についている。アルドラが隠れている間に、同族狩りの脅威を取り除くことが『②アヤカシ』の使命である。

●『③バサラ』

- ・かつて『③バサラ』はモーゼに挑み、一度敗れた。その時モーゼは気まぐれに『③バサラ』を見逃した。
- ・『③バサラ』はアルドラとモーゼの関係を探るため彼女と近い立場にあるフェスラー家に近づいた。
- ・キャロルは、アルドラがアヤカシであることに気づいていないと思われる（『TOS』P13）。必要であれば、アストラルと無関係に、人探しの依頼を引き受けることが可能な表向きの職業を考えること。
- ・キャロルは依頼人としてシナリオに登場するが、事件の核心に関わることはない。

●『④イヌ』

- ・N◎V Aで起こるアストラル事件に関わるのであれば、ナイトハウンドの捜査官という立場にこだわる必要はない。
- ・カイルはアクト終了まで目を覚ますことはない。

（*1）アルドラとの思い出の品
この『記念品』はキーハンドアウトと違い、他のプレイヤーに秘密にする必要はない。キャスト紹介時に、他のプレイヤーに説明するとよいだろう。

オープニングフェイズ

OPENING PHASE

●オープニング1：同族狩りの夢

キンスレイヤー
シーンプレイヤー：『①アヤカシ』

登場：不可

◆解説

『①アヤカシ』のオープニング。アルドラとの回想シーンで、かつて『①アヤカシ』が人間だった頃を演出する(2)。具体的な場所や時代は、『①アヤカシ』の設定に左右されるだろう。以下のセリフも一例程度にとらえ、キャストの設定に合わせて臨機応変に対応すること。

可能なら、『①アヤカシ』の提案したアルドラとの『記念品』の演出(3)に終わるとよい。『記念品』はRLが許すならどのようなものでもよいが、特に多いと思われるのが「アルドラから『①アヤカシ』への贈り物」「『①アヤカシ』からアルドラへの贈り物」のどちらかのケースだ。その場合、このシーンで贈り物をするやりとりを挟むのが、もっとも適当だろう。

◆描写

これはまだ、『①アヤカシ』が人間だった頃の記憶。キミはひとりの少女と出会った。妖精のように美しく、妖しかった。彼女には、夜がよく似合った。

▼セリフ：アルドラ

「『①アヤカシ』、あなたは不思議な人ね。あなたといえるだけで、夜がこんなに輝いてみえる。こんな気持ち、はじめてだわ」

「永遠につづくものなんて、人の世界にはない。すべてのものはいつかなくなってしまう。でも、この夜のことを、私はずっと忘れないわ」

（『①アヤカシ』が『記念品』を贈った）「ありがとう。大切にするわ。あなたからの愛の証だもの」

（アルドラが『記念品』を贈った）「これを、あなたに贈るわ。あなたに捧げる愛の証……」

「このままふたり寄り添って、永遠にあなたを感じていられたらどんなにいいか。ねえ、『①アヤカシ』もそう思わない？」

◆結末

あれはもう、遥か昔のことだ。あれから地軸が捻じれ、氷河期が訪れ、当時を生きていた人間達は皆死に絶えた。しかし、キミはなにひとつ変わらない。そして、おそらく彼女も……。

ここは災厄の街、トーキョーN◎VA。アルドラ・ドルファンはこの夜のどこかにいるはずだ。

『①アヤカシ』がアルドラを探す決意をかためたなら、シーンを終了する。

●オープニング2：最後の挨拶

シーンプレイヤー：『③バサラ』

登場：不可

◆解説

『③バサラ』のオープニング。フェスラー公国のキャロルからアルドラの搜索を依頼される。

◆描写

キミを招いたのはフェスラー公国の御書司、キャロル・フェスラーだった。

彼はキミを応接室へと通した後も、しばらく逡巡していたが、意を決したかのように口火を切った。

▼セリフ：キャロル・フェスラー

「依頼というのは他でもありません。アルドラさんを捜してほしいのです」

「もちろん、アルドラさんは今も執務室にいます。しかし、彼女はカゲムシャです……彼女自身ではない」「奇妙なお願いに思えることは承知しています。しかし、ゆえなきことではないのです」

「あの日、僕が夜中に目を覚ますと、ベッドの脇に腰掛けた彼女が、僕の顔をじっと見つめていたのです。僕はまるで魔法にでもかけられたかのように、動くことができませんでした」

「彼女はそっと僕の頬を撫で……そして気づいた時には、もう姿はありませんでした。きっとあれは別れの挨拶だったのだと思います」

「アルドラさんがどこに行ったのか、リアーヌさんも教えてはくれませんでした。なにが事情があるのでしょうか。でも、だからといって、ほうつてはおけません。だって、アルドラさんも女の子なんですから」

◆結末

キャロルは必要経費も含め、1ゴールド（5報酬点）を前払いする。『③バサラ』が搜索を開始したなら、シーンを終了する。

(2) まだ人間だった頃

この時点で『①アヤカシ』はアルドラがアヤカシであることを知っていてもいいし、知らなくてもいい。

(3) 『記念品』の演出

もちろん、これに該当しないシチュエーションは無数に考えられる。RLは無理のない範囲で、演出を行うとよいだろう。

どのような経緯があったにせよ、この『記念品』は最終的には、永い歳月の中で、『①アヤカシ』とアルドラの手元から失われてしまう。

No Image

▼設定

「さようなら、私の愛しい人……」

サロン・ドルファンの主催を務める、美しく残酷な妖精女王。夜の一族にして、妖精の一族。十代の少女のような外見だが、災厄前からこの星に息づく永世者である。

近年、ヨコハマに建国されたフェスラー公国の元首となったことで、現在では人間社会にもその名が知られるようになった。

信奉者の中からひとりを選び、一年の間愛でた後に、その生気を吸い尽くすと噂されている。詳細は「TOS」P29参照。

「女大公」アルドラ・ドルファン

エキストラ

●オープニング3：サロン・ドルファンの妖魔夜行

シーンプレイヤー：『②アヤカシ』

登場：不可

◆解説

『②アヤカシ』のオープニング。サロン・ドルファンでは一連のアヤカシ狩りが騒ぎになっている。不在のアルドラに変わり、サロン・ドルファンを取り仕切っている“侍従長”アルフレッド(*4)が『②アヤカシ』に事件の調査を命じる。

◆描写

サロン・ドルファンのフロアにはアヤカシ達が集まっていた。皆、不安顔でひそひそ囁き合っている。いつも“女大公”の姿がある椅子も、今は空席だ。“侍従長”アルフレッドは、静かに口を開いた。

▼セリフ：アルフレッド

「近頃、サロンの“狩り場”で、掟破りの狩りが相次いでいる。人間ばかりかサロンの幹部までもが標的となり、幾人もその命を散らした。これはサロンへの攻撃に他ならない。まことに由々しき事態だ」
 「皆もあの噂は聞いていよう。同族狩りの『①アヤカシ』が、N◎VAに姿を見せたとのこと。アルドラさまの寵愛を受けながら、その命を狙う忘恩の輩だ。もし一連の事件が同族狩りの仕業なのだとしたら、その刃はいずれアルドラさまに向くことになる」
 「今、アルドラさまのおそばには、リアーナがはべり、その身辺を守っている。不埒者の手の届かぬ場所に、しばらくの間、身を隠していただくことになるだろう(*5)」

「アルドラさまに安んじていただくためにも、同族狩りの件は早急に対処せねばならない。この件は『②アヤカシ』。おまえが対処しなさい」

◆結末

アルフレッドは経費として1ゴールド(5報酬点)の宝石を差し出し、自由に処分するようにいう。『②アヤカシ』が調査を開始したなら、シーンを終了する。

いてくるひとりの男に出会った。

キミはその男に見覚えがあった。“^{ハスダ}槍”カイル。フリーランスの退魔師だ。

▼セリフ：カイル

「そこにいるのは『④イヌ』か……」
 「クソ、不覚をとった。クロイツェル(*7)が手を引くと言っていたのはこういうわけか。やつは……」

◆結末

犯人の正体を言い終える前に、カイルは気を失う。『④イヌ』は捜査費用として3シルバー(3報酬点)を得る。『④イヌ』が調査を開始したなら、シーンを終了する。

(*4) “侍従長” アルフレッド

アルドラの配下の老執事。ミイラのように顔や手を包帯で覆い、素顔を隠している。『トーキョーN◎VA The Detonation リブレイ ヴァニティ・エンジェル』などに登場している。

(*5) 身を隠していただく

アルフレッドは、一連の事件の犯人がアルドラであることを知らない。

(*6) “槍” カイル

フリーランスの探み屋。過去の事件では、アルドラからの依頼を受けたこともあった。本シナリオではエキストラとして扱う。『トーキョーN◎VA The Detonation リブレイ カウンター・グロウ』『トーキョーN◎VA The Detonation リブレイ ヴァニティ・エンジェル』などに登場している。

(*7) “夜の剣” クロイツェル

同族狩りの魔剣。よくカイルと組んで仕事をしている。アルドラと同じ永世者で、彼女に深い敬意を払っている。本シナリオでは登場しない。

●オープニング4：折れた魔槍

シーンプレイヤー：『④イヌ』

登場：不可

◆解説

『④イヌ』のオープニング。捜査中のストリートで、満身創痍の“槍”カイル(*6)と出会う。このシナリオではカイルはエキストラである。

◆描写

『④イヌ』はこの一週間、ストリートを騒がせている無差別殺人事件を捜査している。犯人はおそらくアヤカシ。それもサロンの掟を破った、はぐれの仕業だ。

夜のストリートを捜査中、キミは重傷を負って歩

リサーチフェイズ

RESEARCH PHASE

●イベント1：同族殺しの来訪

条件：リサーチフェイズ最初のシーン

シーンプレイヤー：『①アヤカシ』

登場：〈社会：ストリート、アストラル〉／SR：イエロー

◆解説

『①アヤカシ』がN◎V Aを歩くシーン。サロン・ドルファンに所属するアヤカシに襲われることになる。なお、このアヤカシはエキストラである。

『①アヤカシ』にプランがあるようなら、舞台や演出を変更するとよい。『①アヤカシ』に接触したがつているプレイヤーがいるなら、積極的に合流をうながそう。

◆描写

N◎V Aの夜がざわついていた。サロン・ドルファンすらも脅かす同族狩り……それが、この街にやってきたというのだ。

▼セリフ：アヤカシ達

「あんた、見慣れない顔だな。^{ニオファイト}新参者か？」

「っ!? お、おまえ、サロンの“狩り場”を荒らして^{キンスレイヤー}る同族狩り……!! ここで、おまえを倒せば大手柄だ！」

(倒した)「……こっ、こんなことをしてただですむと思っているのか? アルドラ様が黙ってはいないぞ」

◆結末

アヤカシを倒し、登場したキャスト同士の交流を行ったなら、シーンを終了する。

●イベント2：妖精女王の心

条件：『①アヤカシ』が隠れ家のアドレスに向かった

シーンプレイヤー：『①アヤカシ』

登場：〈社会：アストラル〉／SR：グリーン

◆解説

『①アヤカシ』が隠れ家のアドレスに向かうと発生するシーン。しかし、アルドラはここにはおらず、身体を破壊されたリアースだけが残されている。アルドラは確かにここに隠れていたが、リアースと交戦し、彼女を振りきって夜の街へと出て行ったという。

リアースはアルドラに託された『記念品』をキャストに手渡す。この『記念品』には、アルドラから『①アヤカシ』に向けたメッセージが付随している。それが文章か暗号かなんらかの超能力によるものなのかは『①アヤカシ』が自由に演出してよい。得られる情報は情報【アルドラの心】にあるものだ。

また、リアースはこのシーン以降、能動的な行動をとることはない。『②アヤカシ』が登場している場合、後のことを託す。

◆描写

天蓋付きのベッド。そこに、可憐な少女の姿があった。

アルドラ・ドルファン——キミの復讐の相手だ。

「『①アヤカシ』……」

しかし、明かりのもとで浮かび上がったアルドラの姿は、精巧につくられた人形そのものだった。カゲムシャであるリアース・ドルファンだ。よく見れば、ボディのあちこちが、無残に破壊されている。

▼セリフ：リアース

「『衝動を止められない』そう言って、アルドラ様は出て行かれました。あんなお顔をした、アルドラ様は初めてです。尋常ではないご様子に驚いた私は、アルドラ様をおいさめしようとした。けれど、私にはアルドラ様をお止めることはできませんでした……」
「おまえは忌むべき同族狩り。しかし、アルドラ様の心に寄り添えるのは、おまえだけ。口惜しいかぎりです」

(『記念品』を差し出す)「おまえに渡すようにと、アルドラ様に託されました。これを取り戻すためにアルドラ様がどれほど骨を折られたか、おまえにわかりますか？」

「私にも、アルドラ様の瞳に、いつもおまえの影があることはわかってしまいます。もう15歳ですので」

◆結末

『①アヤカシ』が『記念品』を受け取ったなら、シーンを終了する。この『記念品』を持っているキャストはキーワードリンク【アルドラの心】を得る。

No Image

▼設定

「アルドラ様の心に寄り添えるのは、おまえだけ。口惜しいかぎりです」

“女大公”のカゲムシャのひとりで、サロンの執行人。『TOS』P21 参照。夢島に廃棄されていたセクサロイドだったが、アルドラの口づけによって、アヤカシとなった。

このシナリオではアルドラの護衛を務めていたが、ベサハウィルスに感染したアルドラ自身の手で破壊されてしまった。

アルドラに忠誠を誓う彼女にとっては、『①アヤカシ』の心は不可解で、不愉快なものだ。だが、それでもアルドラを見つめつづけていた彼女は、その愛が誰に捧げられているのか気づいている。

“妖精の目を持つ乙女”
リアース・ドルファン

エキストラ

●イベント3：古き友人

条件：【モーゼ】【アルドラの目撃情報】の項目をすべて入手した。もしくは【モーゼ】の項目をすべて入手し、「●イベント2：妖精女王の心」が起こった
シーンプレイヤー：『②アヤカシ』

登場：(社会:ストリート、アストラル) / SR:イエロー

◆解説

モーゼがサロン・ドルファンを訪問し、N◎VAのアヤカシ達に演説するシーン。

モーゼはサロン・ドルファンを《買収》^{M&A}(8)する。これによって、アルドラはアストラル社会で追われる側となり、サロン・ドルファンでの実権を失う。

また、キャストが3人の場合、シーンの最後でモーゼは《霧散》^{ディスペア}を使用し、虚空に掻き消えるように退場する。

◆描写

サロン・ドルファンに、ひとりの紳士がやってきた。古株のアヤカシの何人かは、彼の名前を知っていた。アルドラの古い友人……永世者モーゼだ。

騒然とするアヤカシ達の前にして、永世者は演説をはじめる。

▼セリフ：モーゼ

「サロン・ドルファンの諸君。突然の無礼を許して欲しい。僕はモーゼ……“女大公”の古い友人だ」
「“女大公”は自らが定めた“狩り場”の掟を破った。もはやアルドラは、以前の彼女じゃない。忌むべき同族狩りだ」
「僕は知っている。もう幾人もの幹部が、アルドラの手によって葬られていることを……。君達が“女大公”に寄せる信頼と敬愛には、僕も深く感動している。しかし、今の君達は、アルドラにとっては獲物でしかない」

「もしもこのまま“女大公”の行状を放置すれば、サロンの“狩り場”の秩序は失われてしまう。そうなれば、N◎VA軍や聖母殿の介入は避けられない。どうか、ここは僕に任せてほしい」

(※《買収》^{M&A}を使用し、サロン・ドルファンを支配下におく)

「僕と彼女は古馴染みだからね……約束していたんだ。もしも片方が、狂気にとられることがあれば、もうひとりが始末をつけるとね。そんな日が来ないことを、願っていたのだが」

◆結末

モーゼはアルドラを狩ることを宣言し、去っていく。このシーンに登場したキャストはキーワードリンク【モーゼの真意】を得る。

●イベント4：肉体の悪魔

条件：さまようアルドラのアドレスに向かった
シーンプレイヤー：『①アヤカシ』

登場：(社会:ストリート、アストラル) / SR:イエロー

◆解説

アルドラとベサハウイルスがサロン・ドルファンに襲撃をかけようとしている。まず、シーン開始時に登場しているキャスト全員に「SPS：アルドラを取り戻す」を渡す。

一連の会話を終わると、アルドラは衝動のままに、『①アヤカシ』に襲いかかる。

ベサハウイルスに《天変地異》^{キャストロフ}(9)を使用すると、ベサハウイルスはアルドラと分離する。

◆描写

赤道直下の終わらない春。しかし、今宵はなぜだか、凍えるように寒い。サロン・ドルファンへと続く街灯の列を、少女がひとり追いかけけている。

……かすかな血の匂いが、空気に混じる。

▼セリフ：アルドラ

「来てくれたのね、『①アヤカシ』。何百年ぶりかしら」「吸血鬼の心臓が憎いわ。愛しいあなたに会ったというのに、小さな鼓動ひとつ打てないなんて。けれど、信じてくれるかしら。私、あなたのことを、忘れたことなんてないのよ」

「ああ、そう。私は変わってしまったわ！ 永遠は少しずつ魂を歪ませ、醜いものにしていく。私の中には獣がいるの。私の振る舞いをみて、嘲笑うのよ……！」

「もう、許してくれなくてもいいの。最期に共にいるのが、あなたでよかった……っ！」

(※『①アヤカシ』に襲いかかる)

(ベサハウイルスを分離した)「私を救けるの……なぜ？」

▼セリフ：ベサハウイルス

「オレノカラダ、カエセ……！」

◆結末

ベサハウイルスを分離したなら、シーンを終了する。クライマックスフェイズへと移行する。

(*8)《買収》の扱い

《買収》を即座に打ち消した場合、サロン・ドルファンのアヤカシ達は、モーゼの言葉よりアルドラへの忠誠心を選ぶ。

モーゼはアルドラへの忠誠を守るアヤカシ達を賞賛し、「では、私は私のやりかたで、“女大公”との友情をまっとうするでしょう。邪魔だてするのなら、君達と容赦はしないよ」と言い残して、サロンを去る。

(*9)《天変地異》

《天変地異》以外にも、適切な神業を使えば、ベサハウイルスを分離できるとしてもよいだろう。その方法のひとつとして考えられるのが、《制裁》で社会ダメージ「17：逮捕令状」を与え、ベサハウイルスのみを退場させるといったものだ。

もしベサハウイルスが《制裁》で退場させられたなら、次のシーンに登場することはできない。その場合、カット進行に入ってからセットアッププロセスに登場する。

■情報項目

最初から調査可能なキーワードは以下の通り(*10)。

全員共通：

“女大公”アルドラ・ドルファン、掟破りの狩り、同族狩りのアヤカシ

◆“女大公”アルドラ・ドルファン

〈社会：ストリート、アストラル〉〈コネ：アルドラ〉

- 8 サロン・ドルファンを支配する、美しく残酷な妖精女王。フェスラー公国の元首の座についている。
- 12 フェスラー家への協力を約束するかわりに、フェスラー家の蒐集品(*11)のうちいくつかを譲り受けたという。“女大公”を魅了するほどの秘宝とはなんなのか、アヤカシ達は密かに噂している。
- 14 アルドラはフェスラー公国で執務を続けている。しかし、このアルドラはカゲムシャだ。本物のアルドラは、行方をくらませている。フェスラー家がその行方を追っており、『③/バサラ』を雇っている。

◆掟破りの狩り

〈社会：ストリート、警察、アストラル〉

- 10 サロン・ドルファンの“狩り場”で、掟に従わない狩りが行われている。人間、アヤカシを問わず、犠牲者が出ている。
- 12 サロンの幹部が幾人も滅ぼされた。サロンの敵対勢力の仕業であると考えられる。しかし、羅生門に目立った動きはみられない。
- 14 同族狩りのアヤカシが犯人であるとの噂があり、執行人『②アヤカシ』が討伐に動いている。また『④イヌ』が事件の捜査に動いている。なにか手がかりを握っているかもしれない。
- 16 現場付近では、N◎VA軍の姿が目撃されている(【N◎VA軍の目撃情報】)。

◆同族狩りのアヤカシ

〈社会：ストリート、アストラル〉

〈コネ：『①アヤカシ』、アルドラ〉

- 10 名は『①アヤカシ』。かつて“女大公”アルドラの接吻によって、アヤカシとなった。アルドラを憎んでいる。
- 制 掟破りの狩りが始まったのと、ほぼ同時期にN◎VAに姿を現した。アドレスを入手する。

◆N◎VA軍の目撃情報

〈社会：ストリート〉

- 12 ミカツチ部隊が掟破りの狩りを調査している。【妖精作戦】という計画に従事しているようだ。

- 14 彼らの指揮をとっているのは【榊長生】中尉だ。

◆妖精作戦

〈社会：ストリート、アストラル〉

- 14 N◎VA軍の秘密計画。なんらかの方法でアルドラを無力化し、サロン・ドルファンを奪い取ることを目的としている。
- 16 立案者は【榊長生】中尉。また、連名で【角槻竜馬】という外部協力者の名前がある。

◆榊長生

〈社会：テクノロジー、アストラル〉

- 8 日本のアストラル部隊、黄泉千五百軍からN◎VA軍へと出向している技術士官。階級は中尉。アストラルの力を用いた装備を数多く開発してきた天才。
- 12 妖精女王の力に魅入られ、その力を研究したいと考えている。

◆角槻竜馬

〈社会：企業、社交界〉

- 10 著名な投資家で、莫大な資産を運用するエグゼク。その私生活は謎に包まれている。
- 15 オカルトに造詣が深く、N◎VA軍にアドバイザーとして協力している。

◆アルドラの心

〈心理〉〈自我〉〈コネ：アルドラ〉

- 8 アルドラは現在、猛烈な血の渇きに苦しみ、アヤカシとしての闘争本能を持てあました状態にある。彼女はまるでみずからの過去を清算するかのよう、サロン・ドルファンをその手で破壊しようとしている。
- 12 アルドラは『①アヤカシ』に殺されたがっている。彼女は今でも、『①アヤカシ』を愛している。
- 14 アルドラはサロン・ドルファンに向かっていて。さまようアルドラのアドレス(*12)を入手する。

◆モーゼの真意

〈社会：アストラル〉〈コネ：モーゼ〉

- 12 幾度もアルドラに求愛しているが、アルドラが応じたことはない。
- 14 【千年の倦怠】という病に罹患しており、アルドラとともに終焉を迎えたいという妄執にとりつかれている。そのためにN◎VA軍に情報を提供し、対アストラル用呪術兵器【ベサハウイルス】の開発を提案した。

(*10) 調査可能なキーワード

【“女大公”アルドラ・ドルファン】【掟破りの狩り】【同族狩りのアヤカシ】については、キャスト全員がその噂を耳にしているものとして扱って構わない。

(*11) フェスラー家の蒐集品

アルドラはフェスラー家の蒐集品から数点を譲り受けており、それはアルドラの過去に関わる記念品なのだとされている。詳細は【TOS】P29 参照。

(*12) さまようアルドラ

ここで判明するアドレスに向かうと、あとはクライマックスまで一直線だ。この事は、情報が出た時点でプレイヤーに宣言しておくとうい。

プレイヤーが「▼アルドラの治療方法」について情報を得ないまま、アルドラのアドレスに向かおうとしたなら、RLは注意をうながそう。

もしアルドラを治療しなかった場合、アルドラ（ベサハウイルス）はキャスト達に襲いかかり、モーゼと榊長生もそれを支援する。ゲストのデータは通常のクライマックスと同様に処理すること。

◆ペサハウイルス

〈社会：テクノロジー、アストラル〉

〈製作：マジックアイテム〉

- 12 【神長生】の《タイムリー》によって開発された、対アストラル用呪術兵器。アヤカシに感染し、千年の倦怠によく似た症状を引き起こす。
- 14 ペサハウイルスはゲストであり、己の意思をもっている。アルドラの衝動を制御し、一連の凶行を行わせている。
- 16 表面的な症状から【千年の倦怠】と区別することはできない。そのため、アルドラ自身も千年の倦怠に罹患していると認識している。これはペサハウイルスが使用した《^{アンダラダラ}完全偽装》の効果である。
- 18 千年の倦怠と異なり、ウイルスを駆除すれば、治療することが可能（【アルドラの治療方法】）。

◆アルドラの治療方法

〈医療〉〈社会：テクノロジー、アストラル〉

- 16 ペサハウイルスのスタイルはクロガネだ。クロガネの本体（*13）であるウイルスを《^{カラストロフ}天変地異》で破壊すれば、アルドラから分離することができる。アルドラから分離された後は、〈人鞘〉で取得したエキストラに感染して行動する。
- 18 アルドラが治療されれば、計画の失敗を悟ったモーゼ達は実力行使に出るだろう。

◆アルドラの隠れ家

〈社会：ストリート、アストラル〉〈コネ：アルドラ〉

- 12 グリーンエリアに建つ古い洋館。執行人リアーヌが護衛についている。
- 16 アルドラの隠れ家のアドレスを入手する。

◆千年の倦怠

〈医療〉〈社会：アストラル〉

- 10 かつて神が永世者を罰するために生み出したといわれる呪い。
- 12 永い時を生きたアヤカシにおいてのみ起こる、パニック障がい的一种。永遠への倦怠感によって心を支配され、アヤカシの本能を抑えられず、破滅的な行動を繰り返すようになる（*14）。いずれはなんらかの形で、真の死を迎えるだろう。
- 14 アヤカシにとってのいわば寿命であり、いかなる神業をもってしても、治療することはできない。
- 16 アルドラはこの病にかかっている。

◆モーゼ

〈社会：社交界、アストラル〉〈コネ：モーゼ〉

- 12 災厄前より生きる永世者であり、人類史の裏で暗躍する龍の一族。歴史の節目に姿を現し、その陰謀によって、多くの惨劇を引き起こしてきた。
- 14 人間社会に潜伏しており、現在は【角槻竜馬】と名乗っている。
- 16 アルドラの古い友人で、彼女に恋慕を抱いている。

◆アルドラの目撃情報

〈社会：ストリート、警察、アストラル〉〈コネ：アルドラ〉

- 10 現場付近では必ずアルドラと思いき少女が目撃されている。
- 14 一連の事件の犯人は、アルドラ・ドルファンその人だ。彼女はなんらかの理由で、正気を失っている。
- 16 N◎V A軍のミカヅチ部隊がアルドラを監視している。【妖精作戦】という秘密計画の一貫らしい。

(*13) ペサハウイルスの本体

ペサハウイルスは《タイムリー》で生み出されたマジックアイテムである。アウトフィットとしてのデータが必要な場合、以下を使用する。

【企業名】日本軍

【名称】ペサハウイルス

購：－／－ 隠：25／－ 電制：－

部位：任意（細胞）

解説：装備者の本能を解放し、破滅的な行動をとらせる呪い。アクト開始時に装備者を指定する。装備者はRLのコントロール下に置かれる。このアウトフィットは神業以外の方法では破壊されない。

(*14) 破滅的な行動を繰り返すようになる

そして、最終的には墮落（ワーム）と呼ばれる存在となる。彼らは人間を無差別に狩り、己の欲望を満たす。

ミッション・シーン

MISSION SCENE

●ミッション1：初恋の記憶

シーンプレイヤー：『①アヤカシ』

登場：不可

◆解説

『①アヤカシ』のキーハンドアウトが公開された際に発生するミッションシーン。『①アヤカシ』がアルドラによってアヤカシとされた直後、彼女と決別する回想シーン(*15)。

オープニングと同じく、具体的なシチュエーションは『①アヤカシ』の設定に左右されるだろう。以下の描写やセリフはあくまで一例である。記述の内容が、キャストの設定にふさわしくないようであれば、RLは適宜変更を加えること。

◆描写

——そして、幸福な日々は終わりを告げた。

キミが目覚めると、いつもどおりのはずの世界が、まったく違って見えた。

▼セリフ：アルドラ

「おめでと、『①アヤカシ』。今日があなたの新しい誕生日ね」

「これで、私達は永遠に一緒。同じものを見て、同じ時を生きることができるの」

「もう、あなたは人間なんかとは違うのよ。彼らよりとびきり上等な生き物なの。だいじょうぶ、もう傷つくことも飢えることもないわ。私達の餌は、この大地に何億人もいて、みな赤ん坊のように弱いんだもの」「あなたは私の傍にずっといてくれるわよね？ この世のすべての生き物が消え失せるまで、この星が虚空に散るその時まで……ね、『①アヤカシ』？ どうか、うんとうなずいて」

(『①アヤカシ』が拒否した)「あなたも私を置いていくのね！ 永遠の中に、私ひとり……」

◆結末

そして、『①アヤカシ』は彼女と決別した。

あれから永劫に近い歳月が経ったある日、キミのもとにアルドラの手紙が届く。そこには、昔と変わらぬ愛の言葉と、その生命を『①アヤカシ』に捧げる旨が書かれていた。シーンを終了する。

●ミッション2：“女大公”の秘密

シーンプレイヤー：『②アヤカシ』

登場：不可

◆解説

『②アヤカシ』のキーハンドアウトが公開された際に発生するミッションシーン。『②アヤカシ』がアルドラの病に気づくシーン。

◆描写

誰にも邪魔されることのない、妖精女王アルドラと過ごす至福の時間。しかし、ソファにしなだれかっていたアルドラは、突然、己の胸を掻き抱いた。

▼セリフ：アルドラ

「はあ、はあ、はあ……ああ、『②アヤカシ』、そのグラスをとって」

「だいじょうぶよ。血を飲めば、すぐにおさまる。たいしたことはないわ。最近、こうして、記憶の重みに押し潰されそうになることがあるの」

「永遠は素晴らしいばかりではないわ。いいえ。むしろ、呪いのようなものかもしれない」

「退屈と倦怠の中、心がどんどん冷えこんでいく。それをあたためてくれるのは、愛欲だけ。けれど、それもうたかたの夢。つかの間のうちに、指先からこぼれ落ちていく……」

◆結末

永世者の生に、終わりなどないと思っていた。しかし、キミは真実に気づいてしまった……アルドラは滅びようとしている。シーンを終了する。

(*15) アルドラとの決別

アルドラは終始、『①アヤカシ』に好意的であり、シーンの運び方次第では、『①アヤカシ』がアルドラを拒絶することが難しくなってしまうかもしれない。

このシーンにおいて、RLはアルドラが「人間を餌とし、その生命を軽んじる怪物である」という点を、特に意識して演出するとよい。

●ミッション3：永世者の遊戯

シーンプレイヤー：『③バサラ』

登場：不可

◆解説

『③バサラ』のキーハンドアウトが公開された際に発生するミッションシーン。『③バサラ』が宿敵であるモーゼと話す回想シーン。

◆描写

かつて、キミはやつに戦いを挑んだ。

モーゼ……災厄以前より生き続ける、強大なる永世者だ。やつは歴史的事件に裏から介入し、まるで人形遊びでもするかのように、気まぐれに人々を悲劇の渦に巻き込んできた。

やつが減じるまで、人類に安寧はありえない。

だが……永世者は笑いながら、圧倒的な力で、キミをねじふせたのだ。

▼セリフ：モーゼ

「やれやれ、勇敢な人の子だ。君達の一生は短いのだろう？ そんな風に命をなげうつ真似は感心しないな」「しかし命を狙ってきた者を、そのまま帰すというのも僕の威厳に関わるね。さて、どうしたものか……」「おっと……そうだ。今夜はアルドラとの約束があるんだ。そうのんびりとはしていられない。うん、じゃあ仕方がないね。見逃してあげるから、もう帰るなさい」

◆結末

あの時、モーゼがキミを殺さなかったのはただの気まぐれ。そう、やつにとって、この世のすべてが遊び道具にすぎないのだから。シーンを終了する。

●ミッション4：妖精女王の狩り

シーンプレイヤー：『④イヌ』

登場：不可

◆解説

『④イヌ』のキーハンドアウトが公開された際に発生するミッションシーン。『④イヌ』のオープニングの直後にあたる回想シーン。気絶したカイルの後ろから、アルドラが現れる。

◆描写

気絶したカイルの後ろ、ストリートの闇の中から足音が近づいてくる。その音色はあまりに軽い。

街灯のあかりが、追跡者の正体をあらわにする。

その少女は、アルドラ・ドルファン。

紅の唇の端から、一滴の血がこぼれ落ちる。

▼セリフ：アルドラ

「……血管を流れる血潮さえ胸を焼く毒。けれど、なんと甘美なのかしら。まるで、初恋みたいね」

「夜は永いんだもの。時にはこのような余興を愉しむのも、いいのではなくて？ あなたも私のお相手をしてくれるかしら……？」

◆結末

キミはなんとかあの怪物から逃れることができた。

しかし、彼女が少しでも本気を出せば、造作もなく狩られていたことだろう。シーンを終了する。



シナリオ運用の指針

●シナリオのコンセプト

本シナリオは、“女大公”アルドラ・ドルファンのファンシナリオであり、これまでN◎VAを楽しくできたユーザーに向けたストーリーだ。プレイヤーは『ジ・アザーサイド』の記述に目を通しておくべきだろう。

また、ダブルハンドアウトによって、アクト開始時点からプレイヤー間に秘密が存在している。しかし、キャスト同士の対決を意図したものではない。全員のキーハンドアウトの内容が明らかになれば、クライマックスでは共通の敵と戦うシチュエーションになる。ダブルハンドアウトの採用は、よりドラマ性の高いアクトを実現するためだ。このことはあらかじめ、プレイヤーに説明しておくこと。

●『①アヤカシ』の過去について

『①アヤカシ』のオープニングとミッションシーンは、キャストの設定に大きく左右される。設定によっては、シナリオの記述がほとんど使えないケースもあるだろう。

運用に不安を感じるようなら、アンダーワークの段階で、『①アヤカシ』のプレイヤーにシーンの概要をはっきりと打ち明け、相談するとよいだろう。

逆にアンダーワークにさく時間的余裕がない状況では「過去のシーンがシナリオで用意されているため、細かな設定はRLにまかせ

てほしい」とプレイヤーに頼み、シナリオの記述にあわせてもらう形にするとよい。

『①アヤカシ』がどの時代に生まれたかによって、災厄前のアルドラの立場も大きく変わる。RLはプレイ環境にあわせて、柔軟に対応すること。

●羅生門の動き

本シナリオは、サロン・ドルファンとN◎VA軍が、N◎VAの夜をめぐって争うストーリーである。しかし、その勢力図に重要な影響をもつ羅生門について、ほとんど言及していない。

これはアルドラ・ドルファンの因縁に焦点をしぼり、シナリオの構図をシンプルにするための工夫である。

だが、N◎VAに詳しいプレイヤーが揃っているならば、羅生門や酒呑童子の動向について描写してみるのも、面白いだろう。

日本軍とつながりをもつ羅生門は、モーゼから事態に介入しないようクギをさされており、一連の事件から距離を置く方針である。

しかし、酒呑童子は内心ではこのような遠回りな作戦で、アルドラを倒すことを心よく思っており、そうした手段をとるモーゼを軽蔑している。キャストを気に入った酒呑童子が、密かに情報を渡してくれるという展開もありえるだろう。

●2つのゲストデータ

本シナリオではキャストの使用経験点にあわせて、ふたつのゲストデータを用意している。低経験点用ゲストデータは0～60経験点、高経験点用ゲストデータは61～200経験点程度を想定している。

しかし、これはあくまでも目安である。RLはどちらのデータを採用するか、キャストのデータをよく見て、判断すること。

●少人数用のバランス調整

このシナリオは3人でプレイすることが可能である。その場合は以下のバランス調整を推奨する。

▼情報項目

・【アルドラの目撃情報】を削除する。

▼イベント3：古き友人

・モーゼはシーンから退場する際に《霧散》を使用する。

▼クライマックス1：悠久の終わり

・ミカツチ部隊を2グループから1グループのみに変更。

クライマックスフェイズ

CLIMAX PHASE

●クライマックス：悠久の終わり

◆解説

クライマックス戦闘。計画の失敗を察したモーゼ達が現れ、キャスト達を消そうとするシーン。

◆カット進行

カット進行が発生する。敵は以下のとおり。

- ・モーゼ
 - ・榊長生
 - ・ベサハウイルス
 - ・ミカツチ部隊×2（キャストが3人の場合×1）
- ミカツチ部隊はそれぞれ20人ずつ。データはイワサキ情報処理局（『TOS』P144）を使用する。

キャスト達を1エンゲージとし、榊長生とベサハウイルス、ミカツチ部隊を近距離に、モーゼを中距離に配置する。

◆描写

霧の向こうに無数の人影が浮かぶ。いつのまにか、N◎VA軍ミカツチ部隊がキミ達を取り囲んでいる。その中から、3つの影が姿を現した。

▼セリフ：モーゼ

「やれやれ、美しい滅びの物語に水を差すとは、まったく若い人達は風情というものがないね」
「アルドラの恋遊びのことは知っていたよ。でも、僕は焦りはしなかった。無限の時間があったからね。いつか、彼女の心も永遠を共に歩んだ男に、寄り添ってくれると信じていた。しかし、どうやら僕の永遠はここまでのようなんだ」

「僕が滅びた後も、彼女が今までどおりの日々を送るなんて……そんなの耐えられないよ。だから、僕はアルドラと共に眠るための棺を用意したんだ」

「そのためには、彼女自身の手で、彼女の大切なものを……サロン・ドルファンを壊さなくっちゃいけない。すべてを失った時、彼女はずっと隣で待ち続けていた、僕という存在のかけがえのなさに気がつくだろう」
（『①アヤカシ』に）「『①アヤカシ』……なぜ、アルドラがキミを選んだのか、試させてもらおうよ」
（『③パサラ』に）「まさかまだ僕を追っていたとはね。人の子にこんなまでに愛されるとは光栄だな」
（倒された）「そうか、これが死なのか……」

▼セリフ：榊長生

「我らの最高傑作、ベサハウイルスをもってしてもその精神を支配することはかなわないですね。ああ、“女大公”アルドラ・ドルファン。やはり、あなたは素晴らしい……！」

「サロン・ドルファンの壊滅という目的こそ達成できませんでしたが、彼女は十分にサロンの幹部を狩り、アヤカシの間に不和の種を撒いてくれました。サロン・

ドルファンの瓦解はもはや決定的です」

「モーゼ殿、お約束どおり、“女大公”からサンプルをとらせていただきますよ」

▼セリフ：ベサハウイルス

「……ふう、言語中枢掌握完了。やれやれ、予備の人形（*16）を用意しておいて助かったぜ」

「しかし、アルドラに比べると、やわすぎる。精神が完全にぶっ壊れちゃった。まあ、しょうがねえ。オレが肉体を制御するか」

◆結末

カット進行が終了したなら、シーンを終了する。

(*16) 予備の人形

サロン・ドルファンから連れてきた、アルドラのカゲムシャだ。類感呪術の原理（姿形が類似したものは呪術的なつながりをもつ）を利用して、感染した。

No Image

■モーゼ

アヤカシ●、カリスマ、エグゼク◎

▼設定

「なぜ、アルドラがキミを選んだのか、試させてもらおうよ」

災厄以前の古い時代から生きる永世者。金髪碧眼の美青年の姿をとっている。龍の一族としての本能ゆえか、黄金と戯れることを喜びとし、投資家として巨万の富を築いている。人間としての名は角槻電馬。

本来は礼節を重んじる紳士だったが、千年の倦怠が彼を狂わせた。『旧約聖書』に登場する預言者と同名だが、同一人物であるかは定かではない。

No Image

■榊長生

カブキ、タタラ●●、マヤカシ

▼設定

「ああ、“女大公”アルドラ・ドルファン。やはり、あなたは素晴らしい……！」

黄泉千五百軍の技術士官。階級は中尉。天才的な科学者だったが、科学では解明できない闇の存在に気づき、特にその女王たるアルドラの力を研究したいと考えるようになった。N◎VA軍は彼の危険な好奇心に、十分な時間と予算を与える。モーゼという永世者のバックアップを得た彼は、ベサハウイルスというアルドラさえも葬る最終兵器を生み出した。

No Image

■ベサハウイルス

クロガネ●●、カタナ、クグツ

▼設定

「オレノカラダ、カエセ……！」

千年の倦怠を模倣してつくられた、対アヤカシ用の呪術兵器。感染した対象の脳機能を奪い、その行動をコントロールする。クロガネとしての意思をもっているが、本来は表に出てくることはない。ただし、クライマックスでは戦闘経験のないエキストラ（アルドラのカゲムシャ）に感染しているため、身体のコントロールをまるごと奪い、より効率的な戦闘をしようとする。

エンディングフェイズ

ENDING PHASE

●エンディング1：永遠の恋

◆解説

『①アヤカシ』のエンディング。事件は解決したが、『①アヤカシ』の復讐は終わっていない。アルドラの初恋はどのような結末を迎えるだろうか。

アルドラは『①アヤカシ』に身を預け、その決断を待つ。ここで『①アヤカシ』がふたりの関係に決断を下すことで、【P S：アルドラと決着をつける】は達成される。

◆描写

遥か彼方、アーコロジー群の輪郭が、淡く輝き始める。トーキョーN◎VAの永い夜は終わった。もう、夜が明ける。しかし、『①アヤカシ』の復讐はまだ終わっていない。

目の前にはあの頃とまるで変わらない、可憐な少女。

▼セリフ：アルドラ

「あの頃の私は、まるで人間の娘みたいに、泣いたり笑ったりしていたわ。初恋が嬉しくて、浮かれていたの。だから、あなたを思いやれなかった……」

「あれから多くの愛を紡いだけれど、あなたと同じように、恋をすることはできなかったわ。あれほどの情熱に身を焦がしたのも、あれほどの切なさに胸を引き裂かれたのも、あの一度きり……」

「ねえ、私、あなたになら、この生命を捧げてもいいわ。あなたの手にかかるなら、それは永遠の生よりもずっと価値のある死」

「さあ、今こそ、あなたが手にした刃を振るう時。あなたの復讐を果たすべき時よ」

「さようなら、私の愛しい人……」

◆結末

『①アヤカシ』はアルドラに対し、どのような決着をつけるだろうか。『①アヤカシ』の決断を演出したならば、シーンを終了する。

■他キャストのエンディング

次に提示するのはエンディングの一案である。『①アヤカシ』がアルドラを殺害する。あるいはアルドラを連れてN◎VAを去るなどすれば、他キャストのエンディングも大きく変わることになるだろう。以下は『①アヤカシ』がアルドラの去就に関与しなかったことを前提に記述している。

◆『②アヤカシ』

アルドラは自分自身がサロンのルールを破ったことを、恥ずべき行いだととらえている。彼女は「夢のよ

うな時間は、これでおしまい」と言い、ニューロエイジの表舞台から去ろうとする。キャストは彼女を説得することができるだろうか。

◆『③バサラ』

アルドラがN◎VAから去るとしても、キャロルからの依頼は達成される。話を聞いたキャロルはアルドラの決断を尊重し、あらためてキャストにお礼を言う。

◆『④イス』

意識を取り戻したカイルは、事件を解決したキャストを賞賛する。彼はニューロエイジの平和が、アルドラのような強大な永世者の心ひとつにすぎないことへの危機感を口にする。

■ポストアクト

各々のエンディングを演出したならば、経験点の計算等、ポストアクトの準備に入る。「S P S：アルドラを取り戻す」を達成していれば、経験点5点となる。

いかなる結末を迎えていようと、モーゼとN◎VA軍の陰謀から彼女を救ったのなら、このS P Sは達成されているはずだ。

ポストアクト後、シナリオは終了となる。

■低経験点用データ

モーゼ

アヤカシ●、カリスマ、エグゼク◎

▼設定

「なぜ、アルドラがキミを選んだのか、試させてもらうよ」

災厄以前から生きる永世者。龍の一族としての本能ゆえか、黄金と戯れることを喜びとし、投資家として巨万の富を築いている。人間としての名は角機電馬。

本来は礼節を重んじる紳士だったが、千年の倦怠が彼を狂わせた。

▼神業

霧散□ 神の御言葉□ 買収■

▼能力値 / 制御値

♠理性: 3 / 13 ♣感情: 8(9) / 14

♥生命: 4 / 8 ♦外界: 9 / 14

▼戦闘データ

【CS】 7 【AR】 1

【防御力】 S:2 / P:2 / I:2

▼一般技能

4♠♥♦ ★心理

3♠♥♦ ★自我

3♠♥♦ ★回避

4♠♥♦ 隠密

▼スタイル技能

1♠♥♦ †血脈②: 龍の一族・光学 (負) (TOS80)

1♠♥♦ †血脈②: 龍の一族 (魔性) (TOS80)

2♠♥♦ ※幻想結界 (TOS79)

4♠♥♦ ※ラストオーダー (TOS94)

▼アウトフィット

・フォーマリディ電: 15 / 隠: 14 (TNX238)
防 (S/P/I): 2 / 2 / 2

▼戦闘プラン

マイナーアクションで〈血脈②: 龍の一族 (魔性)〉を宣言。シーン中、【感情】の能力値を+1する (括弧内の能力値を参照)。肉体ダメージチャートの9番が「逆鱗: [完全死亡] する」に変更される。

キャストが判定を行った時、〈幻想結界〉を使用し、判定の達成値に - [判定に使用したカードの数字] する。目標値は制御値で、使用すると【AR】を消費する。

〈自我〉や〈回避〉などの判定に、できるかぎり〈隠密〉を組み合わせ、判定値に+2する。もし他のゲストが全員倒された状態で、メインプロセスが回ってきた場合は〈心理〉〈隠密〉を組み合わせ、近距離までの対象に精神攻撃を行う。判定値は+2で、ダメージは1。

戦闘不能ダメージを受けると〈ラストオーダー〉を使用して、ベサハウイルス (すでに戦闘不能になっているなら機長生) を再度行動させる。

機長生

カプキ、タタラ◎●、マヤカシ

▼設定

「ああ、女大公”アルドラ・ドルファン”。やはり、あなたは素晴らしい……！」

黄泉千五百軍の技術士官。ベサハウイルスというアルドラさえも葬る最終兵器を生み出した。

▼神業

チャイ□ タイムリー■ 守護神□

▼能力値 / 制御値

♠理性: 10 / 13(12) ♣感情: 10 / 13(12)

♥生命: 3 / 9(8) ♦外界: 5 / 13(12)

▼戦闘データ

【CS】 11 【AR】 1

【防御力】 S:0(5) / P:0(5) / I:0(5)

▼一般技能

4♠♥♦ ★心理

2♠♥♦ ★自我

2♠♥♦ ★回避

▼スタイル技能

3♠♥♦ †加速装置 (TNX187)

3♠♥♦ †幻覚 (TNX219)

▼アウトフィット

・ラビス電: 16 / 隠: 00 (TOS117)
防 (S/P/I): 5 / 5 / 5

マイナーアクションを使うことで展開する。

・Aディレクトリ電: 15 / 隠: 12 (TOS137)
バサ・マヤカシのスタイル技能で与えるダメージに+2する。

▼戦闘プラン

最初のセットアッププロセスで〈加速装置〉を使用。機長生の【CS】をカット終了まで+ [判定に使用したカードの数字] する。

最初のマイナーアクションでラビスを起動する (括弧内の防御力、制御値を参照)。メジャーアクションでは〈心理〉〈幻覚〉を組み合わせ、近距離までの対象に精神攻撃を行う。ダメージは2で+ [差分値ダメージ]。

ベサハウイルス

クロガネ◎●、カタナ、クグツ

▼設定

「オレノカラダ、カエセ……！」

千年の倦怠を模倣してつくられた、対アヤカシ用の呪術兵器。感染した対象の脳機能を奪い、その行動をコントロールする。

▼神業

万能道具 (ファイト!) □ 死の舞踏□ 完全偽装■

▼能力値 / 制御値

♠理性: 8 / 14 ♣感情: 2 / 12

♥生命: 8 / 14 ♦外界: 7 / 11

▼戦闘データ

【CS】 9 【AR】 1

【防御力】 S:1 / P:1 / I:2

▼一般技能

2♠♥♦ ★回避

4♠♥♦ ★白兵

▼スタイル技能

2♠♥♦ 居合い (TNX204)

2♠♥♦ ハヤブサ (TNX204)

3♠♥♦ 忠誠 (TNX206)

3♠♥♦ フォルム④: ガジェット (TOS66)

1♠♥♦ 人斬 (TOS67)

3♠♥♦ †葉隠 (TNX207)

▼アウトフィット

・降魔刀電: - / 隠: 5 (TNX232)
攻: S+4 受: 2 射程: 至近・アーマージャケット電: 12 / 隠: 12 (TNX238)
防 (S/P/I): 1 / 1 / 2

▼戦闘プラン

最初のセットアッププロセスで〈ハヤブサ〉を使用。ベサハウイルスの【CS】をカット終了まで+ [判定に使用したカードの数字] する。

ベサハウイルスはムーブアクションでキャスト達のエンゲージに入る。メジャーアクションでは〈白兵〉〈葉隠〉の組み合わせで、至近距離の対象に物理攻撃を行う。判定値は+2で、ダメージは[S+12]。

また、肉体・精神ダメージを受けた場合は、〈忠誠〉によって [判定に使用したカードの数字] 点軽減する。1カット1回まで。

■高経験点用データ

モーゼ

アヤカシ●、カリスマ、エグゼク◎

▼設定

「なぜ、アルドラがキミを選んだのか、試させてもらおう」
災厄以前からの永世者。人間としての名は角機竜馬。

▼神業

霧散□ 神の御言葉□ 買収■

▼能力値 / 制御値

♠理性: 6 / 14 ♣感情: 9(11) / 14
♥生命: 6 / 9 ♦外界: 9 / 15

▼戦闘データ

【CS】 10 【AR】 2
【防御力】 S:2 / P:2 / I:2

▼一般技能

4♠♣♥♦ ★心理
3♠♣♥♦ ★自我
3♠♣♥♦ ★回避
4♠♣♥♦ 隠密

▼スタイル技能

3♠♣♥♦ 十邪眼 (TOS78)
2♠♣♥♦ 十血脈②: 龍の一族・光学 (負) (TOS80)
2♠♣♥♦ 十血脈②: 龍の一族 (魔性) (TOS80)
3♠♣♥♦ 十ゲシュタルト崩壊 (TNX193)
2♠♣♥♦ ※幻想結界 (TOS79)
4♠♣♥♦ ※ラストオーダー (TOS94)

▼アウトフィット

・フォーマリディ電: 15 / 隠: 14 (TNX238)
防 (S/P/I): 2 / 2 / 2
・ミュート※電: 25 / 隠: 21 (CTL107)
【AR】を2に変更。与えるすべてのダメージに+3する。
・マジックポルト電: 18 / 隠: 12 (TNX245)
精神攻撃で与える精神ダメージに常に+1する。
・ATスレイヤー電: 14 / 隠: 13 (TNX245)
精神攻撃で与える精神ダメージに常に+2する。

▼戦闘プラン

モーゼはミュートにより、【AR】が2に変更されている。【AR】は1度を攻撃に使用し、もう1度を〈幻想結界〉のために温存する（〈幻想結界〉を使用しなかった場合、再度攻撃を行う）。
マイナーアクションで〈血脈②: 龍の一族（魔性）〉を宣言。シーン中、【感情】の能力値を+2する（括弧内の能力値を参照）。肉体ダメージチャートの9番が「逆鱗: [完全死亡] する」に変更される。
メジャーアクションで〈心理〉〈隠密〉〈ゲシュタルト崩壊〉〈邪眼〉を使用して、近距離までの対象にリアクション不可の精神攻撃を行う。判定値は+3で、ダメージは8+【差分値ダメージ】。4回目以降の攻撃では〈邪眼〉は使用せず、リアクションは可能となる。
また、キャストが判定を行った時、〈幻想結界〉を使用し、判定の達成値に-【判定に使用したカードの数字】する。目標値は制御値で、使用すると【AR】を消費する。
戦闘不能ダメージを受けると〈ラストオーダー〉を使用し、ベサハウイルス（すでに戦闘不能になっているなら榊長生）を再度行動させる。

榊長生

カブキ、タタラ◎●、マヤカシ

▼設定

「ああ、“女大公”アルドラ・ドルファン。やはり、
あなたは素晴らしい……！」
黄泉千五百軍の技術士官。ベサハウイルスを生み出した。

▼神業

チャイ□ タイムリー■ 守護神□

▼能力値 / 制御値

♠理性: 10 / 13(12) ♣感情: 10 / 13(12)
♥生命: 3 / 9(8) ♦外界: 5 / 13(12)

▼戦闘データ

【CS】 11 【AR】 1
【防御力】 S:0(5) / P:0(5) / I:0(5)

▼一般技能

4♠♣♥♦ ★心理
2♠♣♥♦ ★自我
2♠♣♥♦ ★回避

▼スタイル技能

5♠♣♥♦ 十熱狂 (TNX181)
3♠♣♥♦ 十加速装置 (TNX187)
3♠♣♥♦ 十幻覚 (TNX219)

▼アウトフィット

・ラビス電: 16 / 隠: 00 (TOS117)
防 (S/P/I): 5 / 5 / 5
マイナーアクションを使うことで展開する。
・Aディレクトリ電: 15 / 隠: 12 (TOS137)
バサラ・マヤカシのスタイル技能で与えるダメージに+2する。

▼戦闘プラン

最初のセットアッププロセスで〈加速装置〉を使用。榊長生の【CS】をカット終了まで+【判定に使用したカードの数字】する。
最初のマイナーアクションでラビスを起動する（括弧内の防御力、制御値を参照）。メジャーアクションでは〈心理〉〈熱狂〉〈幻覚〉を組み合わせ、近距離までの対象に、範囲（選択）の精神攻撃を行う。ダメージは12で+【差分値ダメージ】。
モーゼの〈ラストオーダー〉で1カットに再度行動する場合は、〈心理〉〈幻覚〉の組み合わせで単体の対象に精神攻撃。ダメージは2で+【差分値ダメージ】。

ベサハウイルス

クログネ◎●、カタナ、クグツ

▼設定

千年の倦怠を模倣してつくられた呪術兵器。

▼神業

万能道具（ファイト!）□ 死の舞踏□ 完全偽装■

▼能力値 / 制御値

♠理性: 8 / 14 ♣感情: 2 / 12
♥生命: 8 / 14 ♦外界: 7 / 11

▼戦闘データ

【CS】 9 【AR】 1
【防御力】 S:1 / P:1 / I:2

▼一般技能

2♠♣♥♦ ★回避
4♠♣♥♦ ★白兵

▼スタイル技能

5♠♣♥♦ 居合い (TNX204)
3♠♣♥♦ ハヤブサ (TNX204)
3♠♣♥♦ 忠誠 (TNX206)
3♠♣♥♦ フォルム④: ガジェット (TOS66)
1♠♣♥♦ 人鞘 (TOS67)
3♠♣♥♦ 十修羅 (TNX205)
3♠♣♥♦ 十葉隠 (TNX207)

▼アウトフィット

・風神刀電:- / 隠: 5 (TOS109)
攻: S+7 受: 2 射程: 至近
・アーマージャケット電: 12 / 隠: 12 (TNX238)
防 (S/P/I): 1 / 1 / 2

▼戦闘プラン

最初のセットアッププロセスで〈ハヤブサ〉を使用。ベサハウイルスの【CS】をカット終了まで+【判定に使用したカードの数字】する。
ベサハウイルスはムーブアクションでキャスト達のエンゲージに入る。メジャーアクションでは〈白兵〉〈葉隠〉〈修羅〉の組み合わせで、至近距離の対象に物理攻撃を行う。判定値は+5で、ダメージは【S+15】+【差分値ダメージ】。
また、肉体・精神ダメージを受けた場合は、〈忠誠〉によって【判定に使用したカードの数字】点軽減する。1カット1回まで。

■本作品について

本作品は、株式会社エンターブレインより刊行された『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』や、その関連商品を取り扱った二次著作物（シナリオデータ）です。

『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』とその関連商品、および『ゲーマーズ・フィールド誌』は、有限会社ファースト・アミューズメント・リサーチの著作物です。

本書の内容はフィクションであり、実在する歴史上の人物、団体、地名などとは一切関係がありません。

また、本書は特定の思想、信条、宗教などを擁護あるいは非難する目的を持って書かれたものではありません。

■利用規定

本作品は無料で自由にアクトに利用することが出来ます。

ただし、シナリオを使用した際には必ず、作者にシナリオやアクトの感想を送ってください。

シナリオ製作者にとって、なによりの励みは感想を貰えることです。

ホームページ (<http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/>) の各シナリオのダウンロードボックス内のツイートボタンを押し、感想ツイートを投稿してください。

(このため、本シナリオを使用するには twitter アカウントが必要になります)

また、シナリオの利用の際には以下の規約をお守りください。

- ① シナリオの著作権は各シナリオの作者にあります。
- ② シナリオの再配布、商用利用はご遠慮ください。
- ③ 投稿されているシナリオを利用したリプレイやプレイ動画の公開、あるいはコンベンションイベントでの使用など、特殊な使い方に関しては事前に作者に連絡を取り、可否を確認してください。

トーキョーN◎VA THE AXLERATION 投稿型シナリオ共有サイト

NeuroCrowD

投稿シナリオ No.022 『アルドラ・ドルファンの初恋』

発行日：2016.1.31

執筆（著作権者） あるばがると
イラスト なし

企画 ニューロ／CD製作委員会
DTP まだら牛
素材 Z-design

連絡用メールアドレス：dapple_ox@gmail.com

サイトURL： <http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/>